

師走と「もち」

今年もいよいよ残すところあとわずかとなりました。12月は、忘年会やクリスマス、大みそかにお正月準備など、年間でも支出が増える月です。今回は、お正月には欠かせない「もち」について調べてみました。

京都市における平成27年の家計調査(二人以上の世帯)の1世帯当たりの「もち」への支出金額を月別にみると、12月が最も多く、年間支出金額の約56%を占めています。

また、京都市は全国平均に比べて、「もち」への支出金額が多く、12月は1298円で都道府県庁所在市・政令指定都市中第8位となっています。(図1、図2)

次に、全国における12月の日別支出金額をみると、25日から徐々に支出が増え、30日に大幅に増えた後、31日は大幅に減る特徴的なグラフになっています(図3)。これは、鏡もちの「一夜飾り」を避けていることなども一因として考えられます。

師走の名のとおり、いろいろな片付けやお正月の準備で忙しくなる時期ですが、無理はしすぎず、素敵な新年を迎えてください。

図1 平成27年 1世帯当たりのもちへの月別支出金額

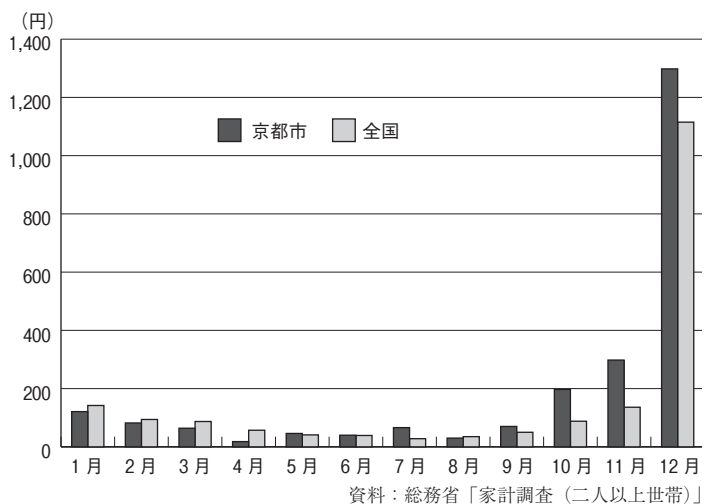


図2 平成27年12月 1世帯当たりのもちへの支出金額 ランキング(10位まで)
(都道府県庁所在市・政令指定都市)

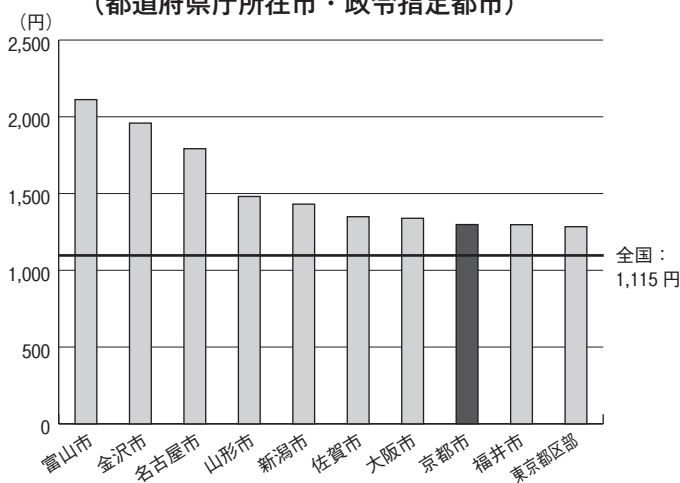


図3 1世帯当たりのもちへの日別支出金額 (平成27年12月 全国)

